

公表

事業所における自己評価総括表（令和8年度）

○事業所名	ゴットオフライフ岡崎校(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2026年 4月 9日 ～ 2026年 4月 23日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	2026年 4月 27日 ～ 2026年 4月 27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童指導員等の得意分野を各々が生かして、相乗効果を発揮できること	どんな些細なご利用者情報でも、情報共有をグループのSNSや会議などで話し合っている	保護者に対しては、連絡帳やSNSなどを活用し、利用者の1日の取り組みや些細な変化など、文章だけではなく写真や動画などでも情報提供を行う。
2	専門的な支援の提供をおこなっている	ブラジルの大学で学んだ方や、ブラジルの病院や産業カウンセラーなどをされていた有資格者（心理担当・言語担当）などが専門知識を活かした支援を行っており、必要に応じて個別支援の提供を行っている	職員の資質や知識の向上を図るため、定期的な勉強会や、専門家による研修会を実施している
3	国籍や年齢に関係なく、ご利用者の受け入れを行うことができる	ポルトガル語・スペイン語・日本語などに対応のできる職員を配置しており、様々な言語に対応している。また通訳のできる職員を配置しており、日本語職員との通訳や、保護者に対しての日常支援を実施している	保護者様の受給者証取得の支援を、もっと手厚くできるように、外国籍職員への制度勉強会を実施する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団療育の場で、年齢の差による支援の提供に弱みが見られる。	利用者個々の発達や抱えている課題にばらつきがあるため	世代別クラスの編成や、発達の凸凹に合わせたクラス編成を行うことができるように検討を重ねていく。
2	自宅と事業所での支援内容の共有化が図れていない	保護者との面談のキャンセルがあるため	SNSや手紙などで保護者連携の重要性を訴えていく
3	外国籍の保護者に受給者証の更新の重要性が伝わりづらい	更新書類は日本語だけのものも多く、重要性が伝わりづらい	保護者利用者へのデメリットを発信する。母国語で資料を作成し、重要性をレクチャーする工夫が必要となる。